



平成 27 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社省電舎  
代表者名 代表取締役社長 中村 俊  
(コード番号 1711 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役管理本部長 嘉納 毅  
(TEL. 03-6821-0004)

## ライツ・オフアリングの調達資金の一部資金使途の変更について

平成 26 年 12 月 26 日付「ライツ・オフアリングの行使結果を踏まえた現状のバイオガスプラント事業スケジュール及び当社の事業方針について」(以下、「平成 26 年 12 月 26 日付リリース」といいます)においてお知らせいたしましたとおり、現状、当初予定しておりましたバイオガス・プラント事業 4 案件のうち、静岡案件 1 件に絞り込んで案件推進しております。その中で設計費用等の支出が先行しておりますので、一部調達資金の支出が発生している状況であります。

この度、当該調達資金につきまして、当第 3 四半期末において当初の資金使途を一時的に一部変更させて頂いておりますので、下記の通りお知らせ致します。

### 記

#### 1. 当社グループの第 3 四半期連結会計期間における入出金の状況

第 2 四半期連結会計期間末における当社グループの現預金残高は 360 百万円であり、平成 26 年 12 月 26 日付リリースに記載の通り、ライツ・オフアリングにより調達した資金の残高は 338 百万円でありました。

平成 26 年 12 月において、工事案件の部材、工事費等の支払いが集中し、売掛金及び工事の前払い代金等の入金額を上回り、資金繰り状況が悪化することが想定されたため、運転資金として 100 百万円の新規借入を実行いたしました。これにより、平成 26 年 12 月 26 日付リリース開示時点では、12 月末日までの入出金の予定から試算した資金繰上では、ライツ・オフアリングによる調達資金を除いた当社グループ資金により、問題無く支払いが可能な状況でありました。

しかしながら、取引業者の一社から 12 月末(平成 26 年 12 月 29 日)入金を見込んでいた工事完了時金(約 240 百万円)が、当日入金されず、ライツ・オフアリング調達資金を除いた当社グループの現預金では、当日の支払い予定額全額の支払いには約 65 百万円不足することが見込まれたため、当社の 12 月末支払い分の一部(工事部材の支払い約 90 百万円)を当初予定の 29 日から 30 日に変更し、やむを得ず、ライツ・オフアリング調達資金の残額から 100 百万円を資金移動することにより対応致しました。

これにより、平成 26 年 12 月末日の当社グループの現預金残高は約 285 百万円、うち、ライツ・オフアリング調達資金の残高は 238 百万円となっております。

## 2. 今後の資金繰り見込みについて

前述の通り、平成 26 年 12 月末ではグループ現預金残高としては、ライツオフアリングによる調達資金を含み約 285 百万円となっておりますが、12 月末に入金を見込んでいた工事完了時金についても平成 27 年 1 月には入金され、また、今後、別の工事案件の着工時金等も入金されることから、資金繰り状況としては改善される見込みであり、一時的にライツ・オフアリング調達資金より資金移動した金額については、現状、ライツ・オフアリング資金に戻しておりますので、ライツ・オフアリング調達資金の残額は、平成 26 年 9 月末残高と同額の 338 百万円となっております。

以 上